

## 知床世界自然遺産の長期モニタリングに係る経過概要について（平成19年度以降）

### 1 平成19年度第1回科学委員会（H19.9.19）

#### 【環境省提案】

- ・ 知床世界自然遺産地域の陸域と海域とを統合的に管理するために科学的な知見に基づいた順応的管理を実施していく。
- ・ このため、モニタリングの実施が必要。
- ・ 調査項目を必要かつ十分なものに絞り込むとともに、間隔や手法などの調査内容を検討することが必要

#### 【議論の概要(主な意見)】

- ・ 順応的管理とは仮説検証型。つまり、単にデータを継続して調べるということだけではなく、それによって遺産地域管理計画がうまく実行されているかを判断するということが必要。何をどのように検証、評価するためのものであるのか明らかにすることが必要。モニタリング調査は、不可欠なものだけでなくはならない。
- ・ 本当に欠かせない調査、必ず実行しなければならない調査の絞り込み作業を提案してきているが、次々に新しい項目が出てきて絞り込めていない。
- ・ 世界自然遺産地域のモニタリング調査ということを考慮すると、評価基準は世界遺産の登録基準である「生物多様性」と「生態系」という推薦書に記載した内容を第一とし、そのレベルが維持されているか、そのような視点で調査項目を整理し優先順位を付けてはどうか。
- ・ 絞り込みは、少人数でグループを作って行う方法もある。
- ・ モニタリングは、よりシンプルでなければならない。

### 2 科学委員会小グループによる検討

モニタリング項目の選定については、世界自然遺産として登録された基準(クライテリア)である「生態系」及び「生物多様性」に加え、海域管理計画やエゾシカ保護管理計画の目的、IUCN技術評価書の内容をもとに検討を進めることとなった。

### 3 平成19年度第2回科学委員会（H20.3.11）

#### 【事務局提案】

- ・ モニタリングの評価項目として、世界遺産の基準を満たし続けること、及び世界遺産委員会からの課題に対応する観点から、以下の7項目を評価項目とする。

#### 世界自然遺産として登録された基準

- ・ 特異な生態系の生産性が維持されていること
- ・ 海洋生態系と陸上生態系の相互関係が維持されていること
- ・ 遺産登録時の生物多様性が維持されていること

#### 世界遺産委員会決議で要請されていること及び科学委員会で重要とされていること

- ・ 遺産地域内海域における海洋生態系の保全と持続的な水産資源利用による安定的な漁業が両立されていること
- ・ 河川工作物による影響が軽減されるなど、サケ科魚類の再生産が可能な河川生態系が維持されていること
- ・ エゾシカの高密度状態によって発生する遺産地域の生態系への過度な影響が発生していないこと
- ・ レクリエーション利用等の人為的活動と自然環境保全が両立されていること

## 【議論の概要(主な意見)】

- ・ IUCNから、気候変動に関するモニタリングの提案があった。
- ・ 各機関が気象データなどの観測を行っている。各委員が持っている情報を環境省へ集約する。
- ・ 世界遺産だからこそ行うモニタリングとそうでないものの差別化すべき。コントロールのためにアクションを起こすことができるものとできないもの(温暖化など)を整理すべき。
- ・ 調査とモニタリングが混在、分けるべき。
- ・ 評価基準があるものの優先順位を高くし、評価基準を定められないものは基礎的研究を進めることではどうか。
- ・ 海域については、他の機関が別目的で行っている調査もリストアップしている。
- ・ トドは全道的な来遊状況調査が必要である一方、アザラシは世界遺産の調査として行っており、違いがあるものが混在している。
- ・ 世界遺産に特有の調査など、海域WGでモニタリングの絞り込みの議論を行いたい。

## 4 平成20年度第1回科学委員会( H20.11.19 )

## 【環境省説明】

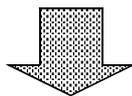
- ・ 管理目標や評価基準が明確なものから絞り込むべきとの指摘があり、知床財団が関係委員からご意見いただき整理を進めている。
- ・ 本日の資料は「科学委員の案」として提示。
- ・ 世界遺産地域管理の観点から行っている項目については、必要・不必要の検討が必要。
- ・ 時間も限られており、海域とエゾシカについては、次回科学委員会までにワーキンググループにおいてご議論いただきたい。

## 【議論の概要(主な意見)】

- ・ 評価項目として「温暖化」を追加すべき。
- ・ 生態系の健全性を総合的に評価する形にすべき。
- ・ データを収集し続けるだけでなく、遺産地域の管理に対して如何に活用するのか、データベースとして使える状態にするのが重要。
- ・ 7つ、温暖化を含めると8つの評価項目について、何の評価指標・基準もないのでは困る。
- ・ 絞り込みの方法として、委員全員からアンケートを取る方法もある。

## 5 科学委員会委員による優先順位付けアンケートの実施( H20.12.26 ~ )

10点満点でのアンケート調査を「試行」として実施。



## 6 海域ワーキンググループ( 本日 : H21.1.22 )